一般社団法人熊本市医師会

令和７年度　事業報告

Ⅰ　法人の概要

１．設立年月日
　昭和２２年１１月１３日
　平成２５年　４月　１日（一般社団法人へ移行）

２．定款に定める目的
　本社団法人は、医道の高揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上を図り、もって社会福祉を増進することを目的とする。

３．定款に定める事業内容
①医道の高揚に関する事項
②医学教育の向上に関する事項
③医師の生涯研修に関する事項
④医学、医療の国際交流に関する事項
⑤公衆衛生の指導啓発に関する事項
⑥地域医療の推進発展に関する事項
⑦地域保健の向上に関する事項
⑧保険医療の充実に関する事項
⑨医療施設の整備に関する事項
⑩会員の相互扶助に関する事項
⑪医業経営の安定、会員の福祉向上による市県民の健康及び福祉の増進に関する事項
⑫医師会相互の連絡調整に関する事項
⑬看護師、准看護師その他の医療従事者の養成及び生涯教育に関する事項
⑭熊本市医師会看護専門学校の運営に関する事項
⑮熊本市医師会熊本地域医療センター（医師会病院、検査センター、ヘルスケアセンター、在宅ケアセンター）の運営に関する事項
⑯その他本会の目的を達成するために必要な事項

４．所管官庁に関する事項
　熊本県健康福祉部医療政策課

５．会員の状況

区　分	当期末	前期末比増減
Ａ会員（開業医師）	５６４名	－８名
Ｂ会員（勤務医師）	８３３名	－１９名
Ｃ会員	６１名	－１名
合　計	１，４５８名	－２８名

６．主たる事務所
　熊本県熊本市中央区本荘３丁目３番３号

7．役員に関する事項

令和８年３月３１日現在

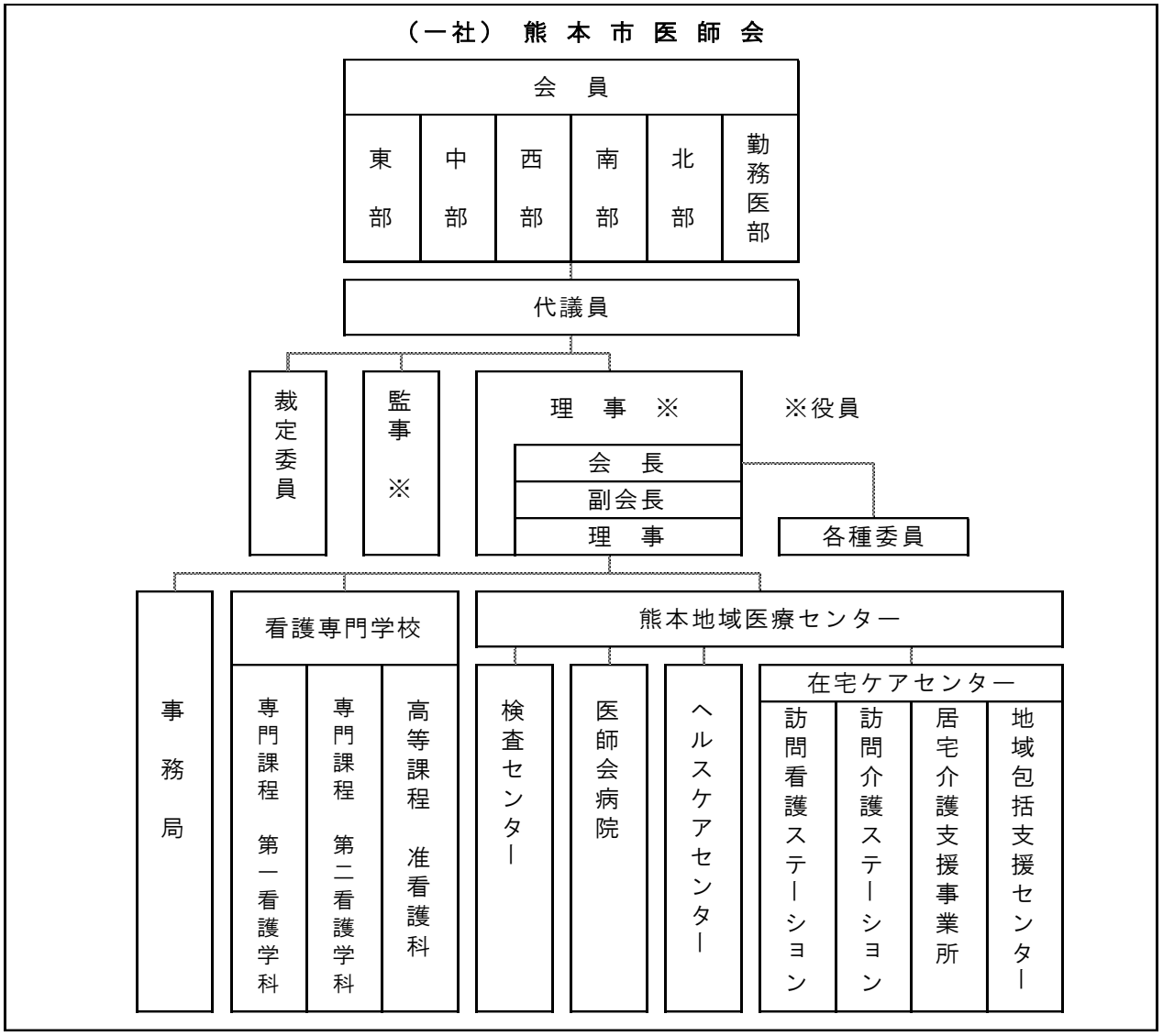
役　職	氏　名	主たる担当職務
会　長	園田　　寛	
副会長	濱田　泰之	総務(学術、勤務医部)、看護専門学校長、ヘルスケアセンター全般
副会長	田中　英一	総務(医師会病院建設、地域包括ケアシステム、在宅医療)、 在宅ケアセンター全般、検査センター全般
副会長	宮本　大典	総務、医師会病院全般
理　事	田嶋　　哲	会計、医療情報、病院会計
理　事	魚返　英寛	会員福祉、看護専門学校庶務・第１看護学科
理　事	野津原　昭	庶務、在宅医療、検査センター会計
理　事	柏木　孝史	広報、検査センター庶務
理　事	杉野　茂人	感染症、ヘルスケアセンター学校検診
理　事	清原　英雄	勤務医部、
理　事	緒方　一朗	学術、ヘルスケアセンター庶務
理　事	髙野　正太	国際交流、看護学校准看護科
理　事	池上あずさ	社会福祉、看護学校会計・第２看護学科
理　事	玉野井優水	介護保険、地域医療
理　事	土井　　賢	保険
理　事	鶴田　克家	病院庶務
理　事	片山　貴文	在宅ケアセンター庶務
理　事	米満弘一郎	救急・災害医療、病院建設、ヘルスケアセンター会計
理　事	杉田　裕樹	在宅ケアセンター会計
理　事	江上　公康	学校保健
監　事	松下　和孝	
監　事	緒方　武幸	
監　事	前田　篤志	

8．職員に関する事項

令和８年３月３１日現在

部署	正規職員		嘱託職員		臨時･パート・非常勤		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	合計
法人事務局	6	8	3		4	3	13	11	24
看護専門学校		24	1	5	1	6	2	35	37
検査センター	19	28	2	3	5	23	26	54	80
病院	92	288	6	10	8	26	106	324	430
ヘルスケアセンター	13	22	3		8	49	24	71	95
在宅ケアセンター	4	6		2	1	17	5	25	30
合計	134	376	15	20	27	124	176	520	696
	510		35		151		696		

９．組織図



１０．施設の設置状況

施 設 の 名 称	所 在 地
熊本市医師会事務局	熊本市中央区本荘３丁目３番３号
看護専門学校	熊本市中央区本荘３丁目３番３号
検査センター	熊本市中央区本荘５丁目１５番１２号
医師会病院	熊本市中央区本荘５丁目１６番１０号
ヘルスケアセンター	熊本市中央区本荘５丁目１５番１２号
在宅ケアセンター 訪問看護ステーション 訪問介護ステーション 居宅介護支援事業所 地域包括支援センター	熊本市中央区本荘５丁目１６番１０号 熊本市中央区本荘４丁目１番３号

１１．許認可に関する事項

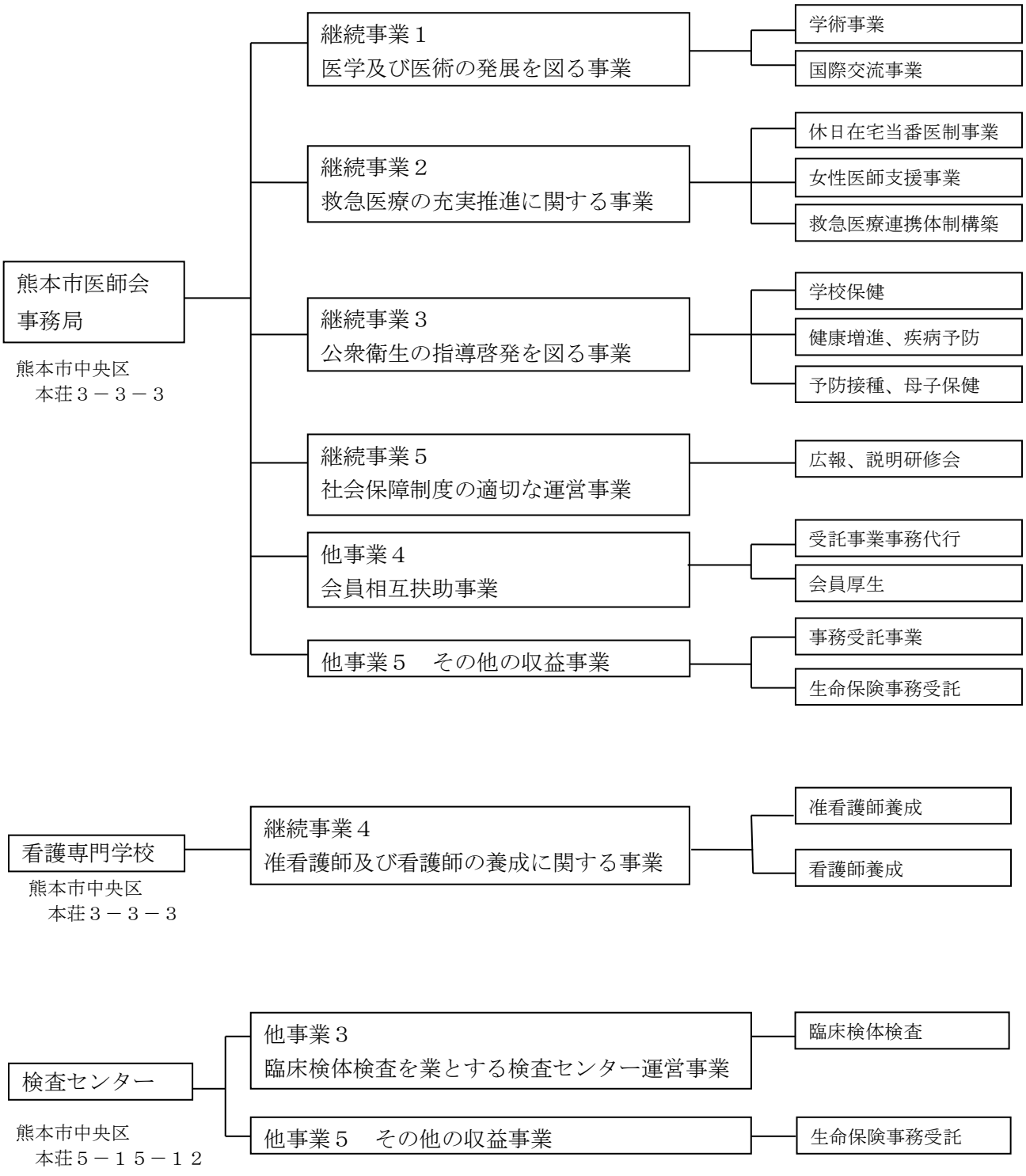
なし

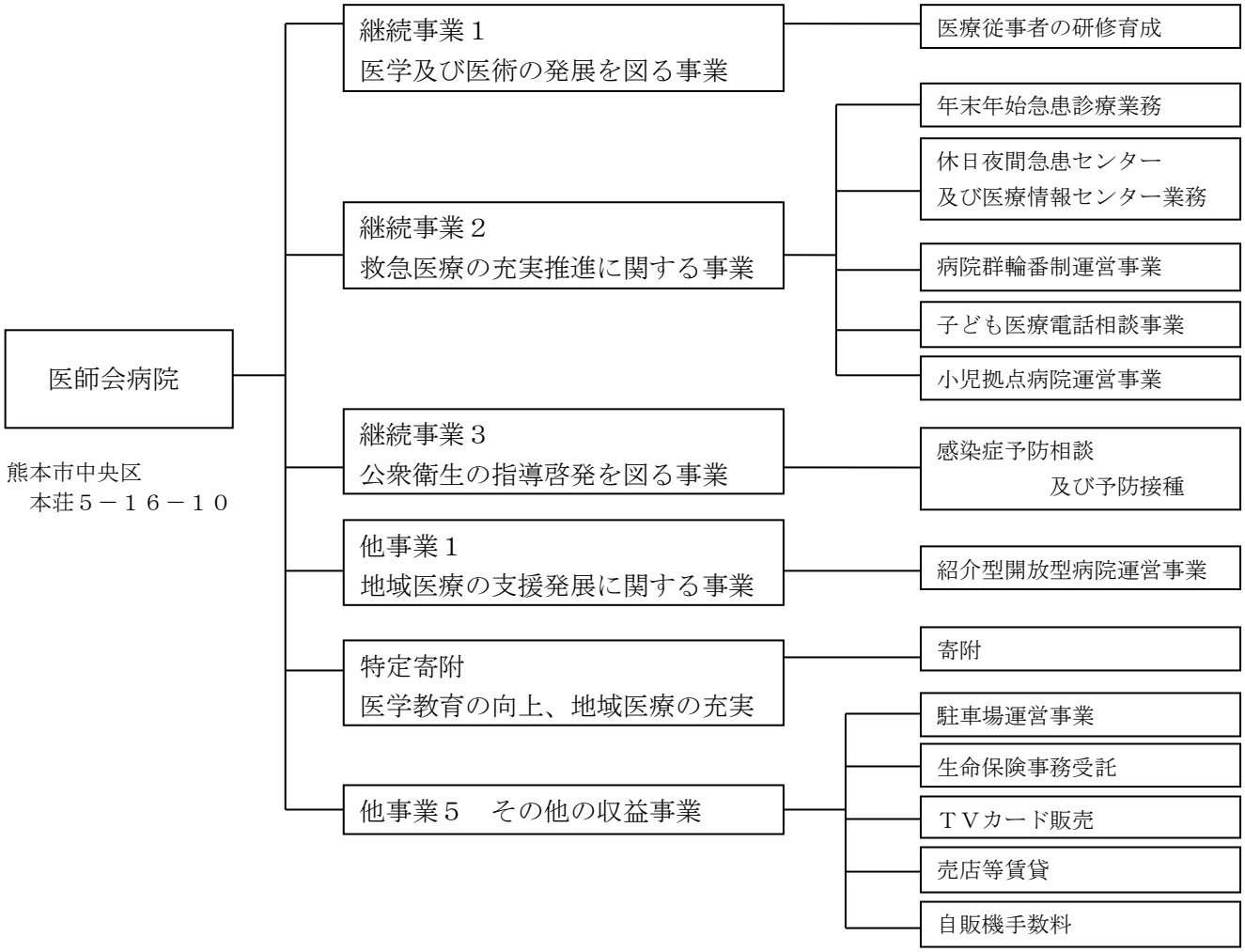
Ⅱ　事業の状況

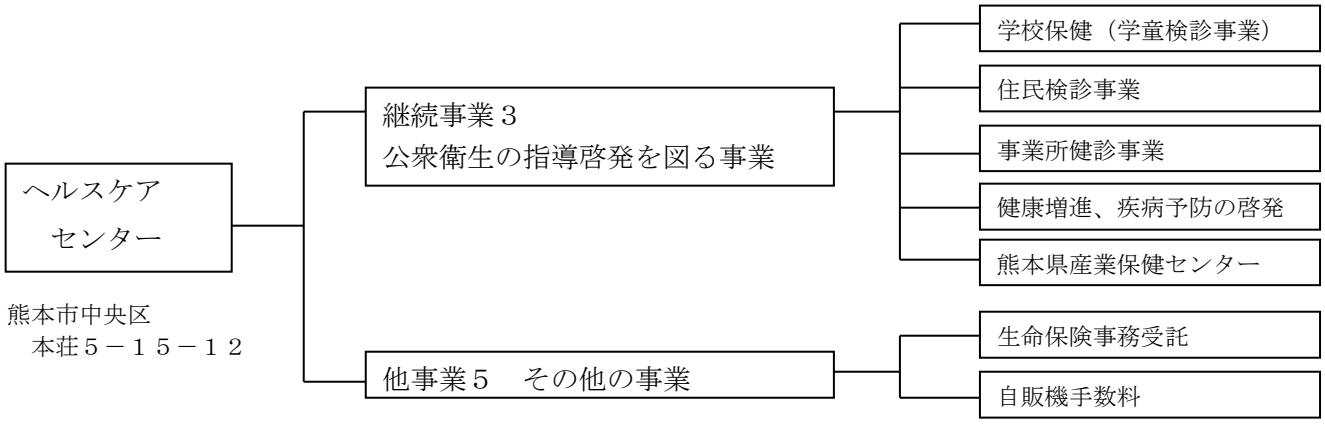
１．事業の実施状況

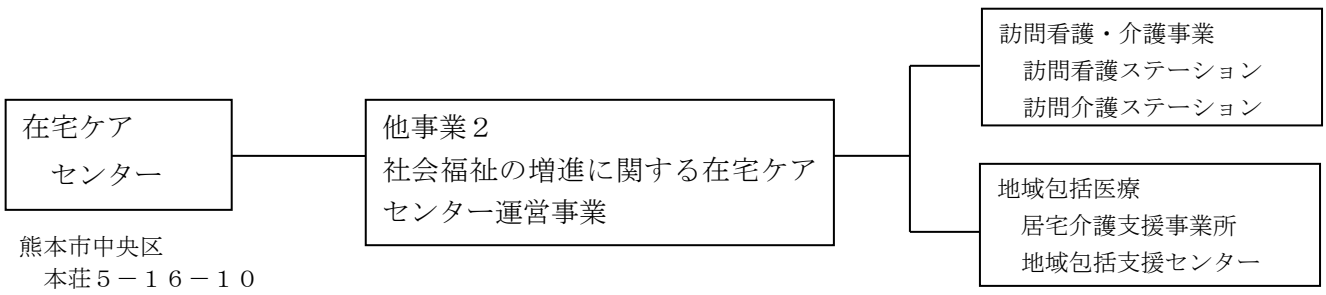
本社団法人は、定款第３条の目的を達成するために努力し、定款第４条に掲げる事業を実施している。

（１）事業・組織体系図




医師会病院
熊本市中央区
本荘５－１６－１０
継続事業１
医学及び医術の発展を図る事業
医療従事者の研修育成
継続事業２
救急医療の充実推進に関する事業
年末年始急患診療業務
休日夜間急患センター
及び医療情報センター業務
病院群輪番制運営事業
子ども医療電話相談事業
小児拠点病院運営事業
継続事業３
公衆衛生の指導啓発を図る事業
感染症予防相談
及び予防接種
他事業１
地域医療の支援発展に関する事業
紹介型開放型病院運営事業
特定寄附
医学教育の向上、地域医療の充実
寄附
他事業５　その他の収益事業
駐車場運営事業
生命保険事務受託
ＴＶカード販売
売店等賃貸
自販機手数料


ヘルスケア
センター
熊本市中央区
本荘５－１５－１２
継続事業３
公衆衛生の指導啓発を図る事業
学校保健（学童検診事業）
住民検診事業
事業所健診事業
健康増進、疾病予防の啓発
熊本県産業保健センター
他事業５　その他の事業
生命保険事務受託
自販機手数料


在宅ケア
センター
熊本市中央区
本荘５－１６－１０
他事業２
社会福祉の増進に関する在宅ケア
センター運営事業
訪問看護・介護事業
訪問看護ステーション
訪問介護ステーション
地域包括医療
居宅介護支援事業所
地域包括支援センター

（２）事業の概要

［継続事業１］　医学及び医術の発展を図る事業

日進月歩の医療において学術の振興を図り安全で質の高い医療を提供していくためには、生涯教育の推進は欠かすことのできないものであり、これを達成するために学術委員会、生涯教育委員会を設置して時宜を得た学術講演会や勉強会等を企画・開催するとともに、関係機関と協力連携のうえに各種講演会・研修会を共催している。また、熊本地域医療センターは地域医療支援病院の指定を受けているが、開設当初より医療従事者生涯教育の実習研修する場として開放し、医療従事者の指導育成に努めている。

１）学術事業

学術委員会の開催　令和８年２月３日（火）

生涯教育委員会の開催　令和７年10月14日（火）

日医生涯教育講座の打合会　令和７年７月28日（月）

講演会、勉強会の開催

・学術講演会　５回開催
出席者１２４名

・熊本地域医療センター勉強会　８回開催
出席者２１１名

・共催後援の講演会　４７回開催。そのうち当法人会館で２回開催。

・講演会、研修会等会場の提供　次のとおり講演会、研修会等会場の利用に供した。

相　　手　熊本大学医学部１１回、専門医会１７回、医専連４回、医師会員２５回、行政他３回

提供施設　講堂１１回、研修室４９回

提 供 日　平日３９回、土曜日１６回、日曜日５回

２）国際交流事業

国際交流委員会

〔第１回〕令和７年４月10日(木)

〔第２回〕令和７年７月18日(金)

第１次台湾医学研修

日　程　令和７年９月20日(土)～23日(火)

団　員　23名(医師13名、家族７名(うち中学生１名、小学生１名)、通訳１名、事務職員２名)

内　容　高雄市衛生局表敬訪問、施設訪問（高雄医学大学、高雄医学大学附属病院)、高雄市医師会との交流　等

３）医療従事者への研修育成事業

令和７年度は、次のとおり実施した。

ア　医療従事者への研修

場所　熊本市医師会熊本地域医療センター（医師会病院）

医学生・看護学生等の実習　（計４２２名）

医師３名、看護師２名、

医学部学生１３２名（消化器内科、小児科、麻酔科、緩和ケア科)、

薬学部学生５名、看護学生２３８名、診療放射線技術専攻学生２０名、

臨床検査技師専攻学生１名、救急救命士専攻学生２名、

理学療法士専攻学生４名、作業療法士専攻学生１名、言語聴覚士専攻学生３名、

臨床工学技士専攻学生３名、その他８名

医療現場の見学、一般病棟・緩和ケア病棟の見学等

イ　指導者としての自己研鑽

学会名	発表演題
第 125 回 日本外科学会定期学術集会	医師の働き方改革時代における臨床工学技士による腹腔鏡手術のタスクシフトの安全性の評価と工夫
第 125 回 日本外科学会定期学術集会	日常生活動作が低下した患者に対する腹部緊急手術の手術成績
第 37 回 日本肝胆膵外科学会学術集会	腹腔鏡下肝切除術における臨床工学技士によるタスクシフトの安全性の評価と工夫
第 37 回 日本肝胆膵外科学会学術集会	Laparocopic versus open liver resection in elderly patients（高齢患者における腹腔鏡下肝切除と開腹肝切除）
第 37 回 日本肝胆膵外科学会学術集会	肝胆膵手術における至適 SSI 対策の考察
第 79 回 日本食道学会学術集会	軟口蓋画像を用いた食道扁平上皮癌ハイリスク者検出 AI の探索的開発
第 80 回 日本消化器外科総会	日常生活動作が低下した大腸癌穿孔患者の臨床的特徴、手術成績、予後の検討
第 24 回 九州・沖縄小児救急医学研究会プログラム	深夜に walk-in で来た乳児、心停止が切迫！
第 63 回 日本糖尿病学会九州支部評議員会 第 63 回 日本糖尿病学会九州地方会	HbA1c 7.1％で救急搬送時に帰された劇症 1 型糖尿病の 1 例

［継続事業２］　救急医療の充実推進発展に関する事業

地域住民の生命と健康を守るため、急病患者の医療の確保と重症救急患者の医療を確保することを目的に、外傷や疾病の緊急の診断と治療を必要とする患者に対して適切な診療を提供する拠点として熊本地域医療センターを開設し、初期救急医療体制の休日夜間急患センター業務と二次救急の病院群輪番制病院業務を行っている。

尚、休日夜間急患業務との併用で医療情報の電話相談も行い、更に小児救急医療体制の補強として、小児患者の症状に応じた適切な医療を提供する体制を採っている。また、地域の医師不足による救急医療や地域医療体制の崩壊を防止するため、特に女性医師の就業継続ができる環境整備に対する支援等を行っている。

１）休日当番医制事業及び年末年始急患診療業務

ア　休日当番医制事業　　７６８施設、受診者３４，９２２名

イ　年末年始急患診療業務

当番医実施医療機関　（令和７年１２月３０日午前８時～８年1月４日午前８時まで）
７０施設　受診者５，１７８名（二次病院搬送１７名）

熊本地域医療センター（令和７年１２月３０日午前０時～８年1月４日午前８時まで）
１，３２０名

２）休日夜間急患センター事業及び医療情報センター業務

実施施設：熊本地域医療センター
（小児科）
平日午後６時～翌日午前８時、休日午前８時～翌日午前８時
（内科、外科）
平日午後６時～午後１１時、　休日午前８時～午後１１時
受診者：１９，９６９名
医療情報センター取扱い件数　５，４１９件
（市民５，５６８、医療機関２７、救急隊４、その他２）

３）病院群輪番制運営事業

実施施設：熊本地域医療センター
受診者：１，９２３名（熊本市１，４７３、市外３７９、県外７１）
三次病院への転送２７名

４）子ども医療電話相談事業

実施施設：熊本地域医療センター、毎日 午後７時～午後１１時
相談料：無料　　相談件数：１１，３８０件

５）小児拠点病院運営事業

熊本地域医療センターは、小児救急医療の第二次救急医療施設の拠点病院として、休日夜間救急センター、在宅当番医制等の初期救急医療施設及び小児救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、休日及び夜間における入院治療を必要とする小児の重症救急患者の医療を提供している。

６）女性医師支援事業

女性医師及び子育て医師が働きやすい環境の整備を以て医師不足の防止を図り医療の崩壊を回避することを目的とし、医師会館内に一時預かり保育所「メディッコクラブ」を設置している。また、熊本県委託の熊本県女性医師キャリア支援センター事業の一環として、講演会等参加時の一時保育事業を行っている。（男性医師の利用も含む）

・保育所の利用者

女性医師延べ 238 名、男性医師延べ 14 名、医師会職員 2 名、児童延べ 413 名

・熊本県女性医師キャリア支援センターの業務及び利用者

県内の女性医師(子育て中の男性医師含む)に対し、講演会及び学会等参加時の一時保育を行った。また、保育・育児等に関する相談等に対応した。

ア　無料託児利用状況

利用日数　36 日、女性医師　延べ 37 名、男性医師　延べ 2 名、児童　延べ 73 名

イ　広報

主催者へ講演会等開催時の無料託児所について案内し、案内状への無料託児掲載依頼を行った。

女性医師支援事業案内のチラシを作成し、熊本県内医療機関及び熊本市医師会員に案内した。

ウ　相談対応

来所相談	男性	0 名
	女性	0 名
電話相談	男性	7 名（開業医 1 名、勤務医 3 名、その他 3 名）
	女性	33 名（勤務医 31 名、その他 2 名）

［継続事業３］　公衆衛生の指導啓発を図る事業

少子高齢化が進展する中、健康寿命の延伸を実現するためには、生活習慣病の予防に加え、高齢期においても社会生活を営むための身体機能を可能な限り維持することが求められている。また、将来を担う次世代の健康を支える観点から、小児期における生活習慣病予防対策等の健康管理も重要である。ヘルスケアセンターでは、自治体と連携し検診結果の共有を行うとともに、各検診事業に専門医で構成する検診班を設置し、精度の向上やデータの一元管理・分析を進めている。これらのデータは、医師会員への情報提供や学会・研修会での発表、地域住民の健康意識向上を目的とした啓発活動等に活用している。

１）学校保健

ア　学校医の推薦

熊本市教育委員会へ 11 名（内科 7、眼科 2、耳鼻科 2）を推薦

熊本市保育幼稚園課（嘱託医）2 名を推薦

熊本県医師会へ 3 名（内科 1、眼科 0、耳鼻科 2）を推薦

イ　学童検診の実施

・学校心臓検診

対象　市立小学校・市私立中学校・公私立高等学校・支援学校のうち、小学校１年・４年、中・高校１年生の児童・生徒。また学校医・養護教諭から検査要請のあったそれ以外の学年の児童・生徒。

第１次検診　令和７年４月９日～令和７年６月５日

第２次検診　令和７年４月 12 日～令和７年７月 19 日

実績 170 校、実施数 23,713 名、精検受診者数(新規)795 名、(追跡)115 名

・学校腎臓検診（検尿）
対象　市私立幼稚園、市立小・中学校、市立高校、市立専門学校、保育園の園児児童
第１次検診　令和７年４月 15 日～令和７年５月 29 日
第２次検診　令和７年４月 30 日～令和７年６月 12 日
第３次検診　令和７年５月 20 日～令和７年７月３日（対象：熊本市立校のみ）
実績 157 校、第１次 61,124 名、第２次 2,043 名、第３次 291 名

・学校結核検診
入学（進級）時結核問診票と学校医の内科健診の所見に基づき、Ｘ線デジタル撮影と喀痰検査をヘルスケアセンターで実施。
実績　胸部Ｘ線　小学校４名、中学校３名の計７名

・肥満度実態調査および小児生活習慣病予防検診
市内小学４年生の肥満度 20%以上の児童を対象として、希望者に予防検診を実施。また、検診（有所見）者への事後指導として、保護者や養護教諭を対象に医師、理学療法士による説明会を実施している。
小学４年生在籍数 6,748 名　うち肥満度 20%以上 718 名(10.6%)
小児生活習慣病予防検診受診者数 352 名　うち有所見者数 160 名
要指導 78 名、要精密検査・加療 77 名、異常なし 192 名、判定不能５名
小児生活習慣病予防検診説明会：令和８年３月７日開催
保護者・児童（受診者）86 名、学校関係者 10 名　計 96 名参加

・脊柱側弯症検診
児童･生徒の内科健診時に、学校医が小学校５年生と中学校１年生に対して重点的に脊柱の検診を行うとともに、ヘルスケアセンター設置の整形外科医からなる検診班より委員が選定された学校へ赴き、学校医とともに視診・触診を行う。抽出された要精密検査の児童･生徒は、専門医療機関(登録指定機関)で精密検査を受診する検診体制をとっている。
対象者：　小学校５年生 6,839 名　　要精検者 180 名(2.6%)
　　中学校１年生 6,503 名　　〃　　128 名(2.0%)
精検受診者：小学校５年生　119 名
　　中学校１年生　 90 名
精密検査結果：側弯症 48 名、側弯症疑い 89 名、異常なし 70 名、その他 2 名

・就学時健康診断
実施期間　令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
実施者数　内科 5,818 名、眼科 5,802 名

ウ　学校教職員健康診断の実施
実施期間　令和７年７月 22 日～令和８年１月７日
熊本市の小学校 85 校(93 校中)、中学校 42 校(43 校中)の教職員 2,327 名実施。

２）住民検診
検診の意義である早期発見・早期治療を達成するために各種検診ごとに専門医からなる読影班委員会を置き、二次検診以降のフォローに注意を注ぎ、個別検診の実施医療機関は登録制による指定を行うとともに各種検診の要精密検査対象者への受診勧奨に努めている。

ア　特定健診・特定保健指導：個別（施設）健診
特定健診のソフトを開発し、実施医療機関に報告書の提供およびデータの一元管理を行

い、事業の円滑な実施を図っている。
健診実績 36,099 件
特定保健指導(市国保)：初回実施 85 件、評価実施 48 件

イ　胃がん検診(X線検査):検診車による巡回検診および施設内のセット検診
受診者 804 名、要精検者 57 名、精検受診者 43 名（75.4%)、がん 0 名
胃がん検診(内視鏡検査)：医療機関による個別検診
受診者 8,266 名、要精検者 535 名、精検受診者 480 名(89.7%)、がん 21 名(発見率 0.25%)
胃がんリスク検査(血清ピロリ抗体検査):医療機関による個別検診
令和7年4月～令和8年3月(通年) 610 名

ウ　子宮頸がん検診：医療機関による個別検診
受診者 15,924 名、要精検者 289 名、精検受診者 192 名(66.4%)、がん3名(発見率 0.02%)

エ　乳がん検診：医療機関による個別検診
受診者 9,809 名、要精検者 698 名、精検受診者 604 名（86.5%)、がん 33 名(発見率 0.3%)

オ　肺がん検診：検診車による巡回検診および施設内のセット検診
受診者 5,147 名、要精検者 73 名、精検受診者 68 名（93.2%)、がん 1 名(発見率 0.02%)
肺がん個別検診：登録医療機関（会員）による個別検診
受診者 14,105 名、要精検者 281 名、精検受診者 190 名（67.6%)、がん4名(発見率 0.03%)

カ　大腸がん検診
検診車による巡回検診（市内 24 校区）と個別検診の併用で実施
冬季期間：令和7年 10 月1日～令和8年3月 31 日　郵送検診実施
受診者 12,184 名、要精検者 1,074 名、精検受診者 701 名（72.4%)、がん 20 名(発見率 0.2%）早期がん８名、進行がん 12 名）
全大腸内視鏡検査：医療機関による個別検診
令和７年 10 月１日～令和８年３月 31 日
受診者：995 名

３）事業所健診

労働者健康の保持増進を目的に、労働安全衛生法に基づく健康診断を実施して受診者には保健指導を行うなど労働衛生の向上に努めている。

通院２日ドック	16 事業所	24 名
日帰りドック	661 事業所	2,383 名
特定健診	5 事業所	19 名
一般健康診断（定期、採用時）	1,947 事業所	10,106 名
成人病予防検診（協会けんぽ、一般）	1,643 事業所	7,182 名
出張健診（定期・協会けんぽ等）	136 事業所	19,999 名
検診車による胸部検診	154 事業所	13,876 名
〃　胃部検診	15 事業所	587 名
検体検査・生理機能等		8,402 名

４）健康増進、疾病予防の啓発

・熊本地域医療センター市民公開講座

熊本地域医療センターは、平成２３年１１月７日付で熊本県指定がん診療連携拠点病院に指定された。「がん」という生死にかかわる病を前にして患者や家族そして医師がどうあるべきか、がんの告知や治療等の選択など、がん診療の拠点病院としての責務により多くの人と「がん」という病を考えていくために、市民を対象とした講座を開催してがんの診療を中心にした医学及び医療について市民に広く啓蒙している。

令和７年度は、１２月６日（土)、新館６階ホールにて「今最も多いがんである大腸がんの最新の話題」というテーマで開催した。

５）感染症予防の相談及び予防接種の実施

予防接種要注意者等が安心して予防接種が受けられる体制を整備して予防接種の向上と予防接種による健康被害発生の防止に万全を期すため、熊本県から委託を受けて当法人は地域医療センターで熊本県予防接種センターを開設している。県民からの予防接種の副反応や感染症予防に関する相談、あるいはハイリスク者（予防接種要注意者)、海外渡航者への予防接種等を実施している。また医療機関からの相談等にも応じており、予防接種に対する県民の不安感を取り除いている。

令和７年度接種者

ハイリスク者　２０９人、海外渡航者２７５人、その他２６人、 計５１０人

６）熊本県熊本地域産業保健センターの設置

熊本労働基準監督署管内の労働者数50人未満の小規模事業場の事業主や労働者を対象とし、労働安全衛生法で定められた保健指導等の産業保健サービスを無料で提供している。

熊本産業保健総合支援センターとの連携のもと、「健康診断結果に基づく医師からの意見聴取」、「労働者の健康管理(メンタルヘルスを含む)に係る相談」、「長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導」、「個別訪問による産業保健指導の実施」の４項目を活動の柱に事業を展開しており、事業場からの相談の対応件数は年々増加している。

対象地域：熊本市、上益城郡、下益城郡、宇土地区

実績：1.個別訪問産業保健師指導25事業場

（熊本市 20、上益城郡 ４、下益城郡 ０、宇土地区 １）

２．健康診断結果について医師からの意見聴取469事業場、相談者4,114名

３．長時間労働者、高ストレス者に対する面接指導12事業場、相談者15名

７）予防接種、母子保健等の充実向上

市民の健康の保持と増進を目的とする予防接種事業や母子保健事業を達成するため、熊本市と連携協力して地域住民の利便性等考慮した事業体制の構築を図り事業の円滑な実施と普及に努めている。

予防接種254,213名、乳児健診9,800名、妊婦健診52,076名、妊婦精密健診1,649名、
産婦健診3,739名、三歳児視聴覚精密健診：眼科835名、耳鼻科156名、
肝炎ウイルス検査2,259名、風しん抗体検査370名

［継続事業４］　准看護師及び看護師の養成に関する事業

急速な高齢化の進展及び保健医療を取り巻く環境等の変化に伴い看護師等の確保の重要性が著しく増大している。看護師の資質向上、医療及び公衆衛生の普及向上を図ることが求められる中にあって、看護師養成における人材育成を通して社会の期待に応え更に一層の発展をしていく為には、看護実践能力の向上と看護職としての社会的責任並びに国民の要望に対応した看護の質の向上が不可欠である。このことを念頭に生命の尊厳と高い倫理観に基づいた豊かな人間性と、必

要な基礎知識、技術を教授し、保健医療福祉活動に貢献しうる質の高い看護実践者の育成につとめている。

ア　看護師養成事業

－医療専門課程－

第１看護学科　修業年限３年、１学年定員７０名（総定員２１０名）

・第１５回生入学式　令和７年　４月　４日
　新入生７３名(うち男性３名)〔受験者１０４名、合格者７７名、競争率1.4〕
・１年生 歓迎会　令和７年　４月　７日
・第１４回宣誓式　令和８年　１月　７日(２年生６７名)
・入学試験
　高校推薦･社会人Ａ･指定校推薦(第１６回生)入学試験　令和７年１０月　５日
　一般(第１６回生)入学試験(前期)･社会人Ｂ入学試験　令和７年１１月１６日
　一般(第１６回生)入学試験(後期)･社会人Ｃ入学試験　令和８年　２月２２日
・第１３回生卒業式(卒業証書授与５９名)　令和８年　３月　４日

第２看護学科　修業年限３年、１学年定員４０名（総定員１２０名）

・第５１回生入学式　令和７年　４月　４日
　新入生２３名(うち男性４名)［受験者２３名、合格者２３名、競争率1.0］
・入学試験
　推薦・指定校推薦(第５２回生)入学試験　令和７年１０月２６日
　一般(第５２回生)入学試験　令和７年１１月３０日
　第２回一般(第５２回生)入学試験　令和８年　２月　１日
　第３回一般(第５２回生)入学試験　令和８年　３月　７日
・第４９回生卒業式(卒業証書授与３３名)　令和８年　３月　４日
・第１１５回看護師国家試験(福岡市)　令和８年　２月１５日
　第１看護学科 第１３回生５９名受験　５７名合格 合格率96.6%(全国88.3%)
　第２看護学科 第４９回生３３名受験　３０名合格 合格率90.9%(全国88.3%)

イ　准看護師養成事業

－医療高等課程－

准看護科　修業年限２年、１学年定員８０名(総定員１６０名)

・第７３回生入学式　令和７年　４月　４日
　新入生２７名(うち男性６名)［受験者２７名、合格者２７名］
・入学試験
　推薦･社会人(第７４回生)入学試験　令和７年１０月１９日
　一般･社会人(第７４回生)入学試験　令和７年１１月２３日
　第２回一般･社会人(第７４回生)入学試験　令和８年　１月２５日
　(応募者なしの為中止)
　第３回一般･社会人(第７４回生)入学試験　令和８年　２月１４日
　(応募者なしの為中止)
　第４回一般・社会人(第７４回生)入学試験　令和８年　２月２８日
　第５回一般・社会人(第７４回生)入学試験　令和８年　３月１４日
・戴帽式(第７３回生)　令和７年１０月１５日(１年生２７名)
・２年生卒業前記念講演会
　期日：令和８年２月２６日　テーマ：「目指す看護像」
・第７２回生卒業式(卒業証書授与３４名)　令和８年　３月　４日
　卒業延期者(卒業証書授与　１名)　令和８年　３月１９日

・熊本県准看護師試験　　令和８年　２月１０日
合格発表　　令和８年　３月１１日
准看護科　第７２回生３４名受験　３４名合格 合格率 100%

ウ　その他３学科合同行事
・学校説明会(高校の先生方への説明会)　令和７年　７月３０日

［継続事業５］　社会保障制度の適切な運営事業
国民の健康で文化的な生活を目的とする社会保障制度は、行政のみならずその実践に深く係わる者の周知や理解なくしては成り立たない。制度のなかで大きなウエイトを占めるのが医療関連制度であり、行政と連携協力のうえに社会保障制度の円滑かつ適正な運営を図ることを目的に制度の説明会等を実施している。
・行政通知等の広報（熊本市・九州厚生局）
・各種説明会等の実施
予防接種説明会（熊本市と共催）　令和８年３月 17 日（火）

［特定寄附］　医学教育の向上及び地域医療の充実に資するための寄附
医学教育の向上及び地域医療の充実に資するために、熊本大学医学部への寄附を実施。

［他事業１］　地域医療の支援、発展に関する紹介型開放型病院の運営事業
地域の医療機関からの重症患者を受入れ、必要な医療を提供した後、元の医療機関に戻すことによる医療機関相互の機能分担と連携を可能なものとし、地域医療全体の質を向上させるために、地域医療の中核となる熊本地域医療センターを、地域のかかりつけの医師、医療機関（特に診療所）の後方支援病院として開設した。熊本地域医療センターは地域の医師に開放された病院であり、地域の診療所で治療が難しい患者に対し、診療所からの紹介によって治療を行うことを主業務とする病院で、地域の医師が患者に良質の医療を行うための基盤となっており、当法人が地域医療のネットワークを形成するために開設している臨床検査センターやヘルスケアセンター（健診施設）、在宅ケアセンター（訪問看護・介護）とともにあって地域医療の質を向上させている。
入院患者数　６，０００名、入院延日数５９，４２２日、在院日数月平均８．４日
紹介率：月平均９８．６％
手術数　７５５件　うち２０５件が緊急手術、会員執刀５２件
共同指導件数　１７１件、共同指導回数　２４４回
外来患者数　５７，０８４名（平日日勤帯外来患者数３７，１１５名、休日夜間帯外来患者数１９，９６９名）
各種検査　内視鏡検査５，１２４件（治療内視鏡１，１２０件）、ＭＲＩ検査４，１０８件、ＣＴ検査９，５２５件、超音波６，４６５件、心カテ７８件

［他事業２］　社会福祉の増進に関する在宅ケアセンター運営事業

高齢化社会の到来で、在宅医療の充実とともに保健福祉の向上は避けては通れないものであり、地域における包括医療提供体制を構築して社会福祉の増進、特に高齢者の福祉の増進を図ることを目的として在宅ケアセンターを開設し、次の事業を行っている。

１）訪問看護ステーション

病気や障害をもって在宅医療する方に対して、専門的知識、技術、判断をもって病気や障害の改善に努め、より良い状態で安全に充実した生活が送れるようあらゆる在宅療養支援することを目的としている。

医療機関からの指示を受け延べ７１８名に訪問看護を行った。

医療保険利用者延べ２２１名、介護保険利用者延べ４９７名

医療保険による訪問回数１，４４５回、介護保険での訪問回数２，１８４回

計３，６２９回

２）訪問介護ステーション

利用者の自立支援として身体介護サービス、家事援助サービス、生活・身上・介護に関する相談助言等を行っている。

延べ９０８名に対し、５，３６３回の訪問介護を行った。

介護サービス利用者延べ４６８名、介護予防サービス利用者延べ４２５名、その他利用者延べ１５名

訪問回数内訳：総合事業２，０１９回、生活援助２，５２５回、身体介護３２２回、身体・生活４０４回、その他９３回

３）居宅介護支援事業所

介護保険に関する各種申請代行、ケアプラン作成、サービス事業所の紹介・調整やその他介護保険に関する相談を行っている。

令和７年度　　要介護１以上のケアプラン作成対象者　延べ１，０６３名

介護予防給付対象者である要支援者　延べ　　２８名

４）地域包括支援センター

地域での高齢者の包括ケアを機能させるため、保健師、ケアマネージャー、社会福祉士を配置し、地域での各種サービスや地域ネットワークの構築などを柱に個別サービスのコーディネートを行っている。

令和７年度　ケアプラン作成者延べ４，５７１名、相談件数２，６９０件

［他事業３］　臨床検体検査運営事業

１）検査センター

臨床検体検査は、診断・治療の用に供する診療の根幹をなすものであり、精度の高い正確な検査データを迅速に供給することが求められ、また、迅速検査は、患者中心の医療や患者サービスの向上が言われる今日、患者にも大きな恩恵がある。これら地域の医師の負託に応え、地域の医療の水準を高めて地域医療の質を向上させることを目的として検査センターを開設し、地域の医療機関からの依頼による臨床検体検査を実施している。

取扱検体数　年間　１，５８８，５９８検体　検査項目数　年間　８，１８６，１７９項目

［他事業４］　会員相互扶助事業

１）代行業務

地域住民の健康の保持と増進を目的とする公衆衛生事業等の事務処理を効率的、効果的に行うため、熊本市と熊本市医師会で委託契約している予防接種及び健診について、実施登録医療機関から提出された報告書・予診票及び受診券すべてを取り纏めて、市への実施医療機関の請求や市からの実施医療機関への料金支払いの対応等を一括代行している。

２）会員所属地区部への補助金、同好会への補助金等

ア　熊本市医師会は、東、中、西、南、北部の地区部と勤務医部の６部に区分し、会務の連絡を図るため、会員数に応じて補助金を助成している。

イ　熊本市医師会では、会員３名以上で結成される同好グループで規定を満たすものを趣味同好会として認可し、補助金を助成している。

剣道部、登ろう会、肥後狂句（杏風会)、ゴルフ会、ワイン同好会、古典音楽同好会

３）代診医師募集

諸事情により診療できなくなった会員医療機関から、代診医師募集の依頼を受け、事務局にて調整を行う。

［他事業５］　その他の収益事業

１）事務受託事業

本会外郭団体への一部業務支援

２）生命保険事務受託事業

３）駐車場運営事業

４）テレビカード販売手数料

５）医師会病院の売店・レストランの賃借料

６）自動販売機設置手数料

２．重要な契約に関する事項

なし

３．役員会等に関する事項

（１）理事会

各理事が担当業務・事業状況を報告し、当法人への入会等重要な案件は担当理事の提案に基づき協議・決定している。尚、検討時間を要する内容のものについては、理事会の企画検討事項として採り上げ協議している。

理事会開催日

R7. 4. 9・23
5.14・28
6.11・25
7. 9・23
8. 6・20
9.10・24
10. 8・22
11.12・26
12.10・24
R8. 1.14・28
2.12・25
3. 4・25

（２）代議員会

○第 35 回臨時代議員会（通算第 282 回）

日　時　令和 7 年 4 月 4 日（金）19：00

場　所　熊本市医師会館　2 階研修室

提出議案

1. 令和 7 年度一般社団法人熊本市医師会会費免除申請に関し承認を求むるの件
2. 令和 7 年度一般社団法人熊本市医師会会費の賦課及び徴収に関し承認を求むるの件
3. 土地取得に関し承認を求むるの件

○第 36 回定例代議員会（通算第 283 回）

日　時　令和 7 年 6 月 20 日（金）19：00

場　所　熊本市医師会館　2 階研修室

報　告

1. 令和 6 年度一般社団法人熊本市医師会事業報告
2. 令和 7 年度一般社団法人熊本市医師会事業計画及び予算

提出議案

1. 一般社団法人熊本市医師会令和６年度財務諸表に関し承認を求むるの件

（３）会員懇談会

日　時　令和 7 年 7 月 26 日（土）18：00

場　所　熊本ホテルキャッスル

①事業報告

②決算報告

（４）会計監査

令和 7 年 6 月 5 日、6 日の両日、令和 6 年度の会務及び会計について監事 3 名から監査を受けた。

４．収支及び正味財産の状況推移

単位：百万円

事業年度	Ｒ６年３月期	Ｒ７年３月期	Ｒ８年３月期
前期繰越収支差額	６，３１４	５，９１６	６，１０３
当期収入合計	７，９９１	８，１３５	８，２１６
当期支出合計	８，３８９	７，９４９	７，８４８
当期収支差額	△３９７	１８６	３６７
次期繰越収支差額	５，９１６	６，１０３	６，４７１
資　産　合　計	１５，１３４	１５，０３８	１４，９１５
負　債　合　計	２，８７３	２，６４８	２，３１９
正　味　財　産	１２，２６１	１２，３９０	１２，５９６

Ⅲ．株式保有の概要

熊本シティエフエム株式９０万円

熊本県医師信用組合　　５万円